

令和2年 2月定例会

# 福井県議会だより

第28号

審議の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください



# 定例会の概要

2月定例会は、2月18日に開会し、3月16日までの28日間にわたって審議を行いました。

開会日には、知事から令和2年度当初予算案をはじめとする76件の議案が提出され、本会議で知事から提案理由の説明が行われました。

令和2年度の当初予算案は、北陸新幹線福井・敦賀開業まで3年余りとなったことを受け、観光資源の磨き上げやまちづくり、交流人口拡大に向けた事業が盛り込まれました。

今定例会では、長期ビジョン、人口減少対策、恐竜博物館の増改築のほか、日本全国に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症への対応について、活発な議論が行われました。

新型コロナウイルス感染症の対応については、閉会日に追加補正予算案2件が提出され、本会議を休憩し

全員協議会を開催して、補正予算案の概要説明、質疑が行われました。

福井県長期ビジョンに関する特別委員会では、「継承」と「創造」をキーワードに福井モデルを確立するとした素案に対し、「もっと大胆な目玉を」、「誰もが合意できる目標を盛り込むべき」などの意見が述べられました。

このような審議を経て、閉会日に追加上程された補正予算案2件（前述）、収用委員会委員の任命同意に係る議案を含め、計79議案に可決または同意するとともに、議員から提出された「地方自治法第180条第1項の規定による知事の専決処分事項の指定案」、「政務活動費の使途の透明性確保に関する決議案」および請願1件についてもそれぞれ採決を行い、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

## 議員対談

## 先輩議員にインタビュー

1期議員が先輩議員からこれまでの活動や信条等を聞く「議員対談」。第4回は山岸猛夫議員、聞き手は田中三津彦議員、松崎雄城議員です。



田中議員：まず、山岸議員が政治家を志したきっかけを教えてください。

山岸議員：もともと政治の道に進む気持ちはなかったが、一つ年下の県議会議員が1期半ばで亡くなり、私に白羽の矢が立った。「高速交通網体系の整備」という要望を受けて立候補し、初当選した。

松崎議員：特に力を入れてきた分野を教えてください。

山岸議員：高速交通網体系を整備することである。私が初当選した頃は、福井空港と北陸新幹線の両方を考えていた。今も忘れないが、扇千景国交大臣が来られた時「福井県は空港も欲しい、新幹線も欲しい、両方欲しいというのはいかがなものか。」と言うこともあって、議会は新幹線に舵を切った。飛行機が東京に飛ぶとしても、1日2便枠しかなかった。

田中議員：大きく流れを変える結節の時期だったのですね。結節と言えば、去年知事が代わり、「福井県長期ビジョン」の策定を進めていますが、どうお考えですか。

山岸議員：20年後を展望する中で、5年ごとのアクションプランの積み重ねが、長期ビジョンの集大成になれば良い。また、人口減少・少子化問題を位置づけ、対策を講じるべきと考える。

松崎議員：小浜市は人口が3万人を切り、大野市も3万人を少し超える状況ですが、福井県の人口減少を止めるために必要なことは。

山岸議員：人口減少対策は、社会減をなくすことが大事である。魅力ある企業が、若い人、優秀な人材を集める。子供の数も減少しており、少子化対策とともに企業を誘致し、産業を興す必要がある。新幹線開業後も、魅力がないと思われれば、人が出ていく流れになります。魅力ある企業、仕

田中議員：事が必要です。最後に、我々1期議員にアドバイスをお願いします。

山岸議員：将来的に福井県はこうあるべきというものを、一つ大きな目標を立て、議員の合意形成を図ることが最も大事である。それが福井県を変えていくことになるのではないかと。





## 代表質問

### 県会自民党 松田 泰典 議員



#### 県都のまちづくりについて

- ・ 県都のまちづくりに向けた検討をどのような体制とスケジュール感で進めていくべきと考えているのか、また、長期ビジョンにどのように位置づけるのか、知事の所見を伺う。

#### 新年度当初予算案について

- ・ 新年度当初予算案において、新規事業への思い切った予算づけと健全財政の堅持の両立は図られているのか、知事の所見を伺う。

### 民主・みらい 辻 一憲 議員



#### 知事の政治姿勢について

- ・ 今年度の政策トライアル枠予算について、導入したねらい、そして、それに対する成果について、知事はどう検証・評価しているのか、今後のトライアル枠予算の方針と併せて伺う。
- ・ 県民会議の意見も踏まえて既存の事業を見直したとのことだが、どのような基準でスクラップ&ビルドを行ったのか、また県民会議の継続や県議会からの指摘・提言の反映など、今後の事業評価の方針、手法について、知事の知見を伺う。

## 一般質問

### 県会自民党 力野 豊 議員



- ・ 観光行政について
- ・ 公共事業について
- ・ 人口減対策について
- ・ 農業振興について

新幹線敦賀開業を見据え、嶺南地域の二次交通の充実と観光振興策を質す。

### 県会自民党 山本 建 議員



- ・ 特急存続または同等の利便性確保について
- ・ 日本一の子育て支援と保育士確保について

並行在来線の特急存続問題がラストスパート!!がんばります!

### 無所属 細川 かをり 議員



- ・ ICTの教育環境及び人材育成について
- ・ 女性活躍推進について
- ・ 河川流域の安全について
- ・ 海水浴場等の安全について

女性活躍推進も気候変動に伴う気象変化対応も、継続追求してまいります。

### 県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・ 5Gに関する通信環境整備について
- ・ 長期ビジョンについて
- ・ 公共施設の再利用について

ネット環境の充実、子育て世帯への経済的支援などの答弁をいただきました。

# 一般質問

## 民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・観光戦略について
- ・首都圏のアンテナショップについて
- ・女性活躍企業について

観光戦略をテーマに質問し、今後県民主役で盛り上げる手法を作りたいです。

## 日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・新幹線開業と同時に迫る大きな危機について
- ・社会的不正事案と工事請負契約議案について
- ・福井駅西口再開発について
- ・文化行政について
- ・悪質商法被害防止について

## 無所属 鈴木 宏治 議員



- ・子育て奮闘中のお父さんより
- ・障がい者・ひきこもりに寄りそって

論戦の結果は、街頭演説や県政報告会で報告していきます。

## 県会自民党 畑 孝幸 議員



- ・長期ビジョンについて
- ・人口減少対策戦略について
- ・インフラの整備について

対面式は初めての経験でしたので、多少違和感があり、不完全燃焼でした。

## 県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・高規格道路に隣接する道路の整備推進について
- ・防災体制強化のための行政連携について
- ・鳥獣害対策の推進について
- ・ブロック塀の安全対策について

危険なブロック塀撤去等、防災減災には今後も積極的に取り組みます。

## 県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・犯罪被害者支援について
- ・中山間地域の活性化策について
- ・電気自動車と地域防災対策について
- ・街づくりのための予算の使い方について

令和元年度最後の議会でした。これからも皆様のご指導宜しくお願ひします。

## 県会自民党 兼井 大 議員



- ・除雪体制の維持について
- ・教育行政について
- ・防災力の向上と地域の活性化について
- ・水道経営の基盤強化について

100年に一度のチャンスに、中京とのビジネスや企業誘致を戦略的に。

## 民主・みらい 北川 博規 議員



- ・救命救急における医療格差について
- ・敦賀港整備について
- ・金ヶ崎周辺整備について
- ・教育施策と教育の公平性について

一問一答の楽しさと難しさを感じることでできた、学びの多い質疑でした。

## 民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・新型コロナウイルス感染症について
- ・教育行政について
- ・県立大学第3期中期計画について

新型コロナウイルスへの県の対応策や新年度の教育行政について問いました。

## 県会自民党 大森 哲男 議員



- ・北陸新幹線開業に向けたまちづくりについて

100年に一度のチャンスを、チーム福井でものにしよう。

## 公明党 西本 恵一 議員



- ・地球温暖化対策について
- ・多様性を認め合う教育の充実について
- ・就職氷河期世代就職促進などについて
- ・健康福祉行政について

新型コロナウイルス感染症対策について適切な支援の手を差しのべてほしい。

## 県会自民党 長田 光広 議員



- ・産業振興等について
- ・観光振興について
- ・人口減少対策について
- ・並行在来線について

令和の福井に御期待賜れる様、利他の心で頑張ります！御指導お願いします。



審議の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

# 予算決算特別委員会

## 県会自民党 鈴木 宏紀 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・長期ビジョンについて
- ・少子化対策について

## 民主・みらい 西畑 知佐代 議員



- ・児童虐待への対応について
- ・高齢者の交通事故対策について
- ・女性活躍社会の推進について
- ・河川の整備について

共生社会に向けて性別を超えた意識改革の推進など、知事に伺いました。

## 県会自民党 関 孝治 議員



- ・林業について

林業は50年60年育てて、伐採、販売する。商売の感覚ではない。

## 県会自民党 西本 正俊 議員



- ・福井県長期ビジョンについて
- ・観光誘客の戦略について
- ・嶺南Eコースト計画について
- ・県外学生Uターンへの推進について

県外学生Uターンを更に推進し、労働と購売人口の増加策について質した。

## 県会自民党 田村 康夫 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・動物愛護について
- ・新幹線関連について
- ・福井県の発信について

動物愛護施設の「動物愛護センター」への名称変更は大きかったと思います。

## 県会自民党 宮本 俊 議員



- ・長期ビジョンについて
- ・ワンパークフェスについて
- ・社会的養護推進について

長期ビジョンが将来にわたり県民の方々の夢の共有になればと祈っています。

## 県会自民党 仲倉 典克 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・福井県の長期ビジョンについて

地域の産業・文化など公益性を担ってきた集落を残すために、限界集落対策を。

## 県会自民党 清水 智信 議員



- ・県内に高度生殖医療の受け皿を
- ・養浩館庭園について
- ・福井県を日本一のそば処に
- ・福井北インターの企業誘致について

特定不妊治療の県内受け皿整備を。ふくいのはそばを日本一に。

## 県会自民党 田中 敏幸 議員



- ・県政全般について
- ・北陸新幹線について
- ・在来線特急の存続について
- ・原子力とエネルギーについて
- ・長期ビジョンについて
- ・アンテナショップの運営について

予算決算特別委員会では、畑 孝幸 議員、田中 三津彦 議員、北川 博規 議員、力野 豊 議員、西本 恵一 議員、佐藤 正雄 議員、辻 一憲 議員も質問をしています。

代表質問、一般質問をした議員は、この欄には掲載していませんが、審議の様子は、YouTubeでご覧になれます。

## ◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

**本会議の傍聴**は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

**委員会の傍聴**は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。 HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

# 常任委員会

## 総務教育常任委員会

2月定例会では、本委員会に付託された「福井県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について」、「福井県義務教育諸学校等の教育職員の給与等の特別措置に関する条例の一部改正について」などの13議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決された。

所管事務の調査では、新型コロナウイルス感染症対策について、小中学校等の臨時休業に伴う課題等についてたまたした。このほか、「京都事務所開設」、「嶺南Eコースト計画(案)」および「福井県並行在来線経営計画(検討項目)」等について質問があり、対応等が示された。



並行在来線のイメージ(提供:JR西日本金沢支社)

## 厚生常任委員会

2月定例会では、本委員会に付託された「福井県無料低額宿泊所の設備および運営の基準に関する条例の制定について」、「障害のある人もない人も幸せに暮らせる福井県共生社会条例等の一部改正について」などの10議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決された。また、付託された「重度障がい者の福祉に関する請願」について、慎重に審査を行った結果、採択と決定した。

所管事務の調査では、新型コロナウイルス感染症対策に関して、検査体制、マスクの確保に向けた対応等についてたまたした。このほか、「産業廃棄物処理公社の焼却事業の公募」、「ヨウ素剤の事前配布」等について質問があり、対応等が示された。



福井県新型コロナウイルス感染症対策本部会議の様子

## 産業常任委員会

2月定例会では、本委員会に付託された「福井県森林環境譲与税基金条例の制定について」、「福井県新規漁業就業者定着支援資金貸与条例の一部改正について」などの6議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決された。

また、所管事務の調査では、アンテナショップに関して、今後の店舗体制のあり方、南青山に所有する県有地の活用方策等についてたまたした。このほか、「新型コロナウイルスの感染拡大による観光への影響」、「ふくいポーク生産量の回復に向けた取り組み」、「ふくいの森林・林業基本計画(案)」、「鳥獣害対策」等について質問があり、対応等が示された。



ふくいの森林・林業基本計画  
(高性能林業機械の導入による作業効率化)

## 土木警察常任委員会

2月定例会では、本委員会に付託された「福井県道路の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について」、「道路改良工事請負契約の締結について」などの8議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決された。

所管事務の調査について、土木部関係では、「空き家除却後の跡地の活用」「暖冬により不要となった除雪費の活用」「交通安全対策」等について質問があり、対応等が示された。

また、公安委員会関係では、「交通死亡事故抑止対策」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「犯罪被害者等支援条例の制定」等について質問があり、対応等が示された。



老朽空き家の様子



審議の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

## 予算決算特別委員会

2月定例会では、本委員会に付託された「令和2年度福井県一般会計予算」などの40議案について、慎重に審議を行った結果、原案どおり可決すべきものと決定した。そのほか、審査の過程において論及のあった主な内容は、次のとおりである。

### 新型コロナウイルス感染症対策

医療体制についての質問に対し、「感染が疑われる方の外来診療は6か所の専門外来で行っており、受入数の増大に備え、嶺北嶺南に1か所ずつ追加できるよう医療機関との調整を行っている。また、衛生環境研究センターのPCR検査の機械を2台から3台へ拡充する準備も進めている」との見解が示された。また、臨時休業による学び残し



リアルタイムPCRシステム

についての質問に対し、「多くの公立学校が、新年度以降、未指導分の内容を取り入れることを考えている」との回答があった。

### 福井県長期ビジョン

長期ビジョン(素案)について、知事の思いを内容を絞って出すべきとの質問に対し、「何を浮き立たせるかを考えていかなければいけない」との見解が示された。また、分かりやすく、絵として見えるようにできないのかとの質問に対し、「分かりやすく、イメージが湧くように仕上げ、次の議会には議案として出したい」との見解が示された。

### その他

人口減少対策、特急存続、嶺南Eコースト計画、女性活躍社会、県の情報発信、防災減災対策、高度生殖医療、社会的養護、動物管理指導センター、アンテナショップ、林業、多世帯同居・近居への補助、多文化共生など、広範多岐にわたり、それぞれ理事者の見解と対応をたじた。



審議の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください

## 福井県長期ビジョンに関する特別委員会

本委員会の調査事項である「福井県長期ビジョン」の策定に関すること」「ふくい創生・人口減少対策戦略」の策定に関すること」について調査を行った。

今回示された「福井県長期ビジョン(素案)」について説明の後、委員から質疑や提言がなされた。

委員の発言の主なものについては、以下のとおりである。

- このビジョンで、100年の大計の中にすばらしい福井県ができると、県民が希望を持てるか。もっと大胆に、行き過ぎるぐらいのものがなければ長期構想の意味がない。大きなスローガンがほしい。
- 2040年に福井県が注目される、福井に行きたい、住んでみたいというものがあるのか、「とんがり」にはなっていない。インパクトが前面に出ていない印象。
- 福井の評価を聞くと、自然の豊かさや食べ物のおい

しさであり、農山漁村が崩壊すると福井の評価も下がる。最先端の部分はこの県でもできる。福井県らしさの追求を位置付け、2040年に向かって、こうやって福井県を残していくんだという気概、テーマ、具体的な政策が、アドバルーン的に必要。

- 計画はつくるのが目的ではなく、県民との共有が大事。浸透させて、理解を得る、思いを共有。
- 「3つの姿」はどこの県を入れても同じになる。福井だから、という部分が間違いなくあると思う。徹底して福井らしさを出すようなテーマタイトルを入れる。
- 長期ビジョンは、県の仕事リストではなく、県民と夢を共有できるものであるべき。
- やるべき方向性を明らかにし、変わらない価値、誰もが合意できる目標をつくるべき。
- 県外からどう見られるかを意識し、何か光るものをつくっていくべき。
- 人口減少こそ最も優先すべき課題であり、何とかして人口を減らさない工夫をしなければならない。

## 特集 新型コロナウイルス感染症対策について

### ○全員協議会の開催（令和2年4月2日）

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県内の状況を把握するとともに、県民の声や意見を伝え、情報共有するため、急きょ全員協議会を開催しました。

全員協議会では、冒頭、県側から検査・医療体制の強化や県内企業等への支援について説明がありました。その後の質疑では、医療提供体制、PCR検査の実施等について様々な質問や提案等が出されました。

### ○知事への要請（令和2年4月3日）

全員協議会での意見や提案等を受けて、田中宏典議長が、直接、杉本知事に要請を行いました。その後、田中議長が知事への要請結果と県民へのメッセージについて会見を行いました。



#### 知事への要請項目

- 知事から県民へのより強力なメッセージの発信
- 医療提供体制の強化
- 積極的なPCR検査の実施
- 医療施設や学校等におけるマスク等物資の確保
- 自粛要請に伴う思い切った財政出動
- 中小企業者への融資枠の拡大
- 休校に伴う生徒への対応

### ～議長から県民の皆様へのメッセージ～

新型コロナウイルスの感染については、感染経路が不明なケースも確認されるなど、無症状の人からの感染も完全に否定できず、感染拡大に歯止めがかからない状況にあります。

気づかぬうちに感染してしまったり、感染させたりすることで、尊い命がこれ以上失われることがないように、不要不急の外出を控えて頂くよう強くお願いします。

県民の皆様は活動の自粛をお願いする以上、それによって影響を受ける事業者や個人の皆様に対する支援は不可欠であり、こうした支援策を県とともに講じ、国にも要請を行ってまいります。

県議会も県と一体となって支援に努めてまいりますので、どうか県民の皆様、共にこの国難を乗り越えましょう。



議長メッセージは  
YouTubeを  
ご覧ください

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見をお願いいたします。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

令和2年4月27日発行